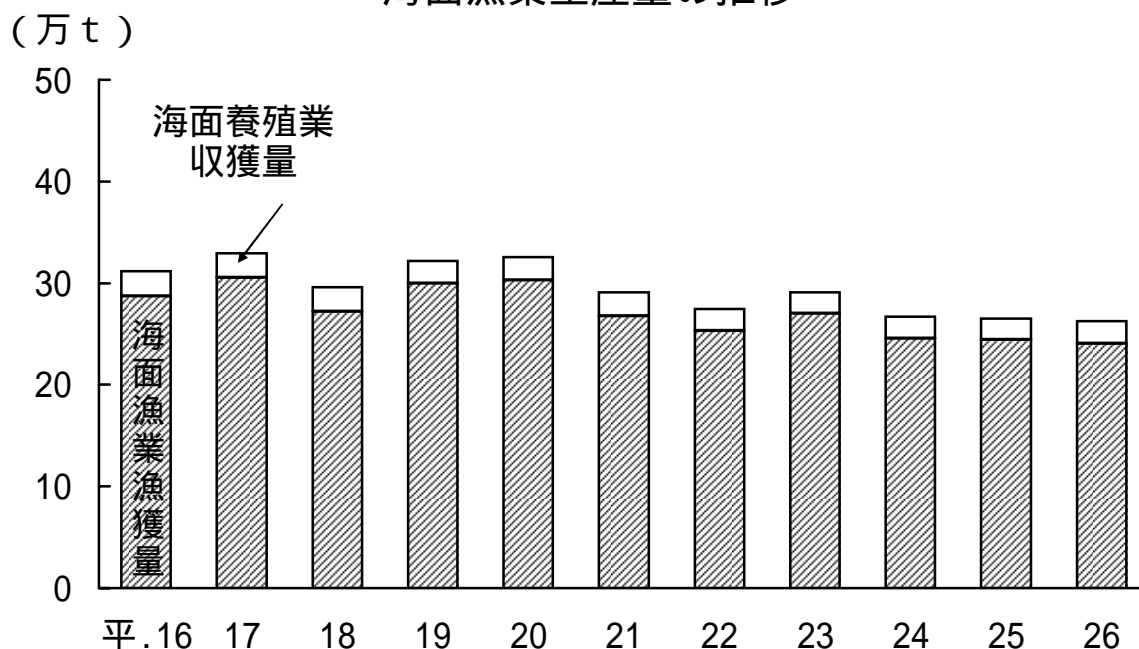


水産業の概況

海面漁業生産量の推移



<平成25年の概況>

平成25年の長崎県における海面漁業・養殖業生産量は26万5,359tで、24年に比べ1,933t(0.7%)減少しました。

海面漁業の漁獲量は24万4,050tで、24年に比べ1,515t(0.6%)減少しました。これは、うるめいわし、まあじ、ぶり類等で増加したものの、むろあじ類、さば類、いか類等が減少したためです。

また、海面養殖業の収穫量は2万1,310tで、24年に比べ417t(2.0%)減少しました。これは、くろまぐろ、ふぐ類、かき類養殖等が増加したものの、まだい、ぶり類、わかめ類養殖等が減少したためです。

<平成26年の概況>

平成26年の長崎県における海面漁業・養殖業生産量は26万2,472tで、25年に比べ2,887t(1.1%)減少しました。

海面漁業の漁獲量は24万390tで、25年に比べ3,660t(1.5%)減少しました。これは、まぐろ類、さば類、いか類等で増加したものの、ぶり類、かつお類、うるめいわし、まあじ等が減少したためです。

また、海面養殖業の収穫量は2万2,083tで、25年に比べ773t(3.6%)増加しました。これは、ぶり類等が減少したものの、くろまぐろ、ふぐ類、かき類養殖等が増加したためです。

(九州農政局長崎支局)